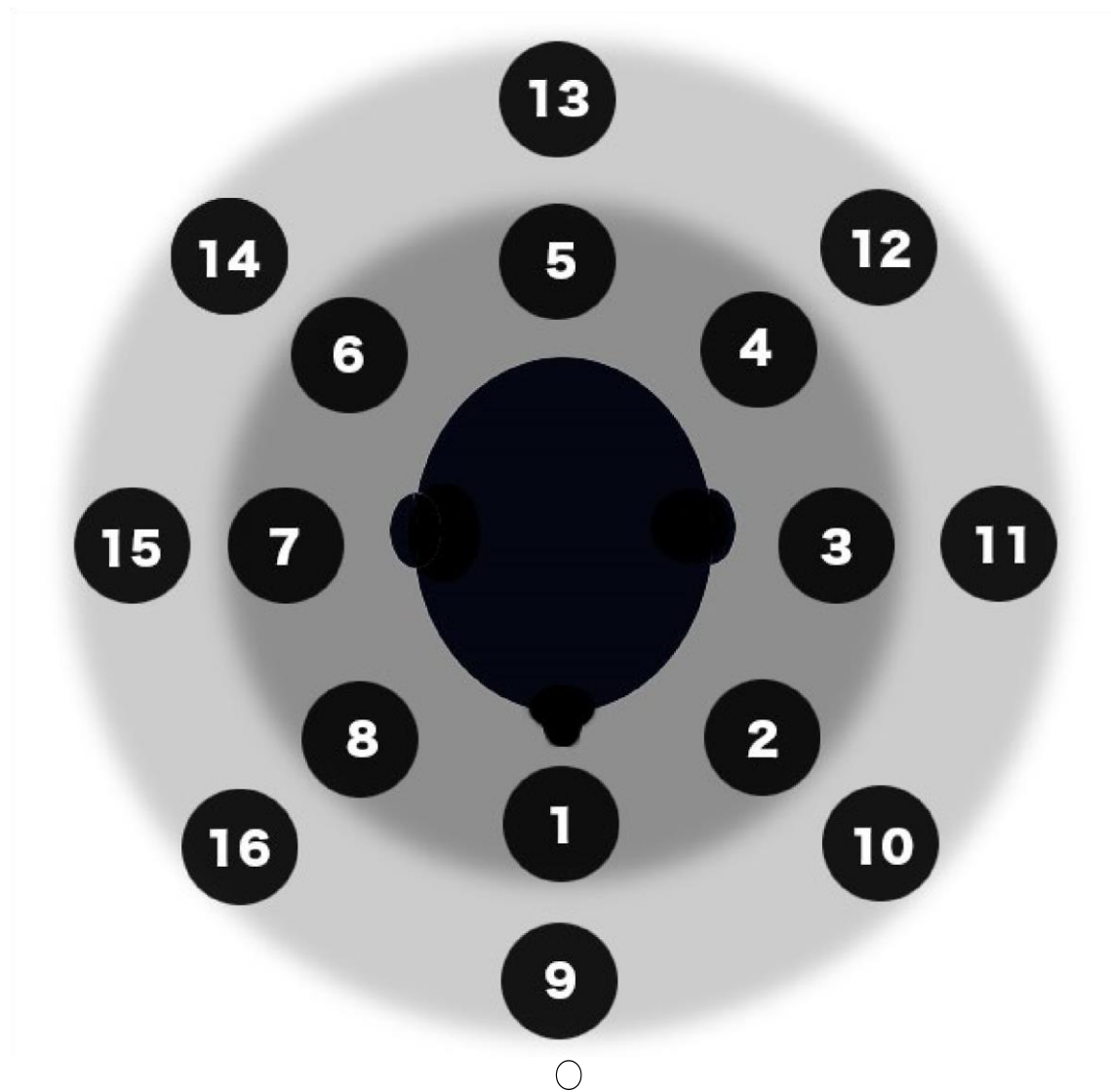


【いつもイジってくるロリビッチが実はオホ声でイキまくるドMで
した♡】

◇マイク位置表



○学校玄関

・ ゆっくりした足音↳下駄箱から上履き取り出す音↳臭い嗅ぐ間（必要なら臭い嗅ぐSE）

・ スマホのムービー止める音

〱マイク位置12

アロエ 「見〜ちゃった」

・ 慌てて上履き下駄箱に戻す音

〱マイク位置16

アロエ 「ねえ、くそざこせ〜ンセ♡一体何してたのかなあ…？フフフっ♡」

主人公 「こ、これは、その…」

アロエ 「きやは♡うける〜♡なに慌ててるのお？まじキモいし♡

声ひっくり返って何言ってるかわかんないなあ」

主人公 「え、えーと…こんな時間に何してるの？」

アロエ 「何してたのって？実はね、最近朝きたら、アロエの上履き誰かが弄った

気がするから見張ってたんだよ」

主人公 「誰かが弄ったって、どうして？」

アロエ 「どうしてって、アロエいつもキチンと同じ場所に置くのに、

ちよつとずれてるんだもん、気付くよ…

へえ、でも先生だったんだねえ、犯人は」

主人公 「いや、そ、そうじゃなくて…」

アロエ 「んー？ そうじゃないなら今何してたのかなあ？ほら、

証拠動画もちゃんと取ってあるんだけど、ねえ？」

主人公 「ごめんなさい、出来心で…」

アロエ 「ふうん、出来心…よくわかんないけど、出来心って、顔赤くしておチンチンおつきくすることなのお？へえんたあい」

主人公 「えっ？」

・ガバつと股間触る音

〳〵マイク位置 1

アロエ 「ふん、ごまかそうったって、ほーら…

こんなにコチンコチンになってるじゃない」

・摩る音

主人公 「な、なにを…」

アロエ 「キャハハハ！何その顔？なっさけなーい♡自分よりずーっとちっちゃい女の子に、おちんちん好き勝手に触られちゃって、恥ずかしくないの？」

主人公 「や、やめて…」

アロエ 「えっ、やめていいの？ふーん、じゃあこのビンビンに

硬くなったロリコンおちんちん、

このままおあずけでちゅね♡かわいそうに♡」

主人公 「そ、そんなぁ」

・擦る音ここまで

〳〵マイク位置 9

アロエ 「そ、そんなぁ…なーんて情けない声出して、あー、おつかしい。

アロエの上履きの嗅いでうつとりしてたくせに、

今更恥ずかしがることないじゃないどうせ、家に帰って思い出して自分でしこしこする気だったんでしょ？ このスケベ♡」

主人公 「それは…」

アロエ 「ふーん、違うんだあ？ …あ、さてはすぐにトイレに持ち込んでスーハ―しながら、すぐ抜くつもりだったとか？ わあ、変態」

主人公 「ご、ごめんなさい、もうしないから許して」

アロエ 「許して？ あ、やっぱり悪いことしてるって自覚あるんだ」

主人公 「そ、それは…」

アロエ 「だよね、だよね…犯罪だよねえ、これってさ」

主人公 「お願い、許して」

アロエ 「受けるう、必死だね、クスクス。でもさあ…」

主人公 「でも、なに？」

アロエ 「まずいよね、こういうの誰かに知られたら？ 先生こんなことしてましたって、アロエがこの動画拡散したら、困るよねえ、顔もバッチリ映ってるし」

主人公 「困ります、困りますっ！」

アロエ 「慌ててる、慌ててる、おっかしー、キャハハハ」

主人公 「お願いだから見逃して！」

アロエ 「くすくす、そんなに慌てなくていいってばあ、アロエそんなことしても何にも得しないもん…あ、そうだ♪」

主人公 「なに？」

／＼マイク位置3

・耳元で囁くように

アロエ「じゃあ、せんせいは今日から私のド・レ・イにけつてーい♡」

主人公「ど、奴隷？」

アロエ「そう、奴隷。今日のことは、黙っておいてあげてもいいけど、

その代わり、わたしの言うことはなんでも聞くの。わかった？」

主人公「え、えーと…」

アロエ「ねえ、なに現実逃避してるの？せんせーみたいな前髪すつかすかの
ロリコンおじさんがアロエの奴隷になれるんだから、むしろ感謝してよね♡」

主人公「そ、そんなあ…」

／＼マイク位置9

アロエ「きゃはは♡やっぱー、その情けない顔おもしろーい♡ほんとざっこ
それじゃ、今後先生は奴隷として、私にご奉仕しなきゃね？」

主人公「ご奉仕？ どんな？」

アロエ「そんなこともわかんないの？、簡単よ、アロエの命令に従えばいいの。
…あつ、もしかしてえっちなこととか期待しちゃったんでしょ？変態♡」

主人公「そっそういう訳じゃ…!？」

アロエ「えゝほんとにいい？ じゃあ、何でココ、更におつきくしてるのかなあ？
ざこせんせ？」

・摩る音

アロエ 「まあ、最近男子の奴隷がちよーどいなくなっちゃたし、ちよーどいいや。大人の人は初めてだけど、どうせなら、先生のよわよわおちんちんも私のおもちやにしちやいまーす♡じゃあ、今後アロエの言うことには絶対服従ね♡

断ったらこの動画がどうなるかわかんないよ？

まあ、ざこ先生にはアロエに反抗するなんて無理でしょうけど♡」

主人公 「は、はい」

アロエ 「はーい。いい返事ですじや、さっそく、命令ね♡

今、ここでズボン下ろして、ビンビンのおチンチンアロエに見せて」

主人公 「え、ここで!! 無理無理」

アロエ 「アロエの言うことは絶対って言ったでしょ？ 無理無理じゃないの。

ほら、早くそのロリコンちんちんだしちやえ〜♡」

主人公 「そ、そんな…」

アロエ 「ほら、早くっ♡」

・慌ててベルト外そうとする音

アロエ 「アハハハハハっ!」

主人公 「な、なに？」

アロエ 「だって、本当にやるんだもん、こんなところで」

主人公 「だって、やれって…」

アロエ 「誰か来たらどうするの？ バカだなあ、どうせやるならあ、

だーれも来ない所で、やるにきまつてるじゃん」

主人公「そ、そんなあ」

アロエ「あーあ、ほんとにキモイ♡その情けないカオ。みつともなくて。

フフツ。そういうの見せられちゃったら、アロエ先生にもつと

悪戯したくなっちゃう♡」

／＼マイク位置7

・耳元で囁くようにいやらしく

アロエ「じゃあ、続きは、どこでしようか？」

主人公「へっ!!」

／＼マイク位置9

アロエ「受けるっ！声ひっくり返っちゃってるし！

情けなーい、かつこ悪う、キャハハハ」

主人公「続きは？」

アロエ「続き？…あ、やっぱり、期待した？」

主人公「う、うん」

アロエ「うーん、どうしようかな。もうちょっと先生をからかうのも面白いんだ

けどお…今日はもうこれでお預けだね、ざこせんせ♡」

主人公「えっ？」

アロエ「だって、先生のこと見張ってたらもうこんな時間だもーん。

今日は塾もない日だから、ママが心配しちゃうしー。残念でした♡」

主人公「そ、そんな…」

アロエ「キャハハ、ほんとに今ここでアロエといやらしいことできるって

信じてた感じ？先生みたいなくそぎこロリコン教師が

そう簡単に私とエッチなことできるわけないじゃないw

脳みそまでよわよわなのかな？」

／＼マイク位置3

・耳元で煽るように

アロエ「あゝあ、かわいそ♡くすくす♡でも、また今度アロエの気が向いたら

いじめてあげてもいい♡」

／＼マイク位置9

アロエ「じゃ、今日のところは〜ここでお終い♡アロエ帰るね♡」

主人公「う、うん」

アロエ「（小声で）きゃは♡ようやくせんせー手に入れちゃった…

キョドっちゃってカワイイの♡」

主人公「え？」

アロエ「あ、なんでもないなんでもない、こっちの話。

それじゃーね…せんせばーいばーい♡…フフッ♡」

・シチュエーション1へ

○シチュエーション1 廊下

／＼マイク位置10

アロエ「あ、いたいた…おーい、ざあこ♡ざこ先生♡ほらこっちこっち♡」

主人公「どうしたの？」

アロエ「どうしたのじゃないよ、もー。探してたんだよ」

主人公「何か用？」

アロエ「なあによその態度は！アロエはせんせーのご主人様なんだからね！
ほら、このあいだの続き、してあげてもいいよ♡」

主人公「あ、ああ、あれ本気だったの？」

アロエ「本気に決まってるじゃない！いい？先生はアロエの奴隷
なんだんだから、アロエの言うこと聞かなきゃダメなの」

主人公「わかったけど、どこで？」

アロエ「くふふ♡旧校舎にいい場所あるんだ、この時間ならもう大丈夫。
ついて来て」

○人気のないトイレ

／＼マイク位置7

・トイレの扉開いて二人入っていく音

アロエ「おっそーい。ほら、さつさと入って。こっち、早く！」

・個室に入りドア閉める音

／＼マイク位置1

主人公「う、う、うは…」

アロエ 「ここはって、見たらわかると思うんだけどなあ？」

女子トイレに決まってるじゃない♡」

主人公 「いや、そうじゃなくてこんなところで何を…」

アロエ 「こんなところで何するかって？逆に先生は何をされたいのかなー。

女子トイレにいるとこ誰かにみられたら

困るのは先生だもんねー♡変態♡」

主人公 「ど、どうしてそんな…」

アロエ 「どうしてもこうしてもないの。いい？

あーんな恥ずかしい所アロエに目撃されて、動画まで撮られたわけなんだ

しい…ね？ 黙って言うこと聞かないんじや、

この動画ネットにばら撒いちやおっかなー♡」

主人公 「そ、それだけは…」

アロエ 「あは♡結局いい年した大人のくせに、

こーんな動画一つでアロエの言いなりになっちゃうだもんね？

いい？ ここから先はアロエがアロエのしたいようにするから、

黙って従ってればいいの、(少し声大きめに)わかった？ せーんせw」

主人公 「ちよつと、声が大きい…」

アロエ 「あーそつか、先生がここにいるの、

バレたらおまわりさんにつかまっちゃうもんね？

これでまた一つ、アロエに逆らえない理由できちゃった♡」

主人公 「くっ…」

アロエ「あつれ♡ご不満？ だったら猶更いいや、アハハッ。

じゃ、ざあこ、私はここに座るから…」

・便器の蓋を開けて座る音

／＼マイク位置9

アロエ「よいしょ、うん、ちょうどいい高さ…ほら、あんたはそこに立ったまま

パンツ下げて」

アロエ「ほくら、何驚いてるのよ、今更♡さつさとパンツおろして！」

主人公「えっ？で、でも、そんなこと…」

アロエ「ふくん♡なに？ アロエの言うこと聞けないのかな？

じゃ、大声出しちやおうかなあ、誰か、助けて♡ってさ、フフッ」

主人公「そ、それは…」

アロエ「困るでしょ？ 困るよねえ？ だったら、ほら、さつさと脱ぐ」

主人公「わ、わかったよ…」

・ベルト外して、ズボンを下す音、その音聞きながら

アロエ「♪(嬉しそうに鼻歌)ざあこ、ざこ♡

かよわい女の子にも勝てないざこオトナ♡あは♡」

主人公「はい…」

アロエ「はいって、ざあこ、まだ一枚あるじゃん、ぱ・ん・つ♡それも♡」

主人公「えっ？ そ、それは…」

アロエ「えっ、嫌なの？ 恥ずかしい？ (ちよつと大きめに)…誰か♡」

主人公「わかった、わかったからっ！」

アロエ「わかればいいの、わかれば…ほら、ほら♡さっさと♡

このノロマ♡クズ♡まぬけ♡」

・下着下ろす音

／＼マイク位置1

アロエ「わっ…で、出た♡(小声で)な、なによ、思ったより大きいじゃない…
ふにやふにやのくせに。(ここで普通の音量に戻る)

この生意気ドーターおちんちん！」

主人公「そ、そんなこと…」

アロエ「あれ違うの？ さきつちよから根元までどこからどう見ても、
未経験って書いてる可愛いピンクのおちんちんなんだけど？

しかもほーけーだし♡」

主人公「ぐっ…そ、そんなことない」

・おちんちんに顔を近づけ、観察する

／＼マイク位置2

アロエ「違うんだろ、へー…ふーん…ここの縮こまつてる

お・ち・ん・ち・ん…経験あるんだあ。

オマンコの中に入ったことあるんだ…へえー、意外だなあ…

本当にいい？嘘なんじゃないのお？」

主人公「う、嘘です…経験ありません」

アロエ「でしょ？ 最初から見え張らないの、バレバレなんだから、

だってせんせー見るからに童貞丸出しだもんね♡

つんつん♡（ちんちんつつく）」

主人公「ひゃあっ！」

アロエ「ひゃあっって…ぷぷ、うけるゝ、ちよつとついたらひゃあだって…

そんな声出す人本当にいたんだ…ハハハ」

主人公「うう…」

アロエ「そのなさけなくい態度見てたら、もつといじめたくなっちゃったゝ♡

ほゝら、もうちよつとこつちきて…」

14 / 53

／＼マイク位置1

・おちんちに顔を近づけ、煽る

主人公「な、なに？」

アロエ「よいしょ、うわあ、よく見るときったないゝ♡

お風呂もちゃんと入ってないのゝ？このざこ教師♡ほら♡

（指で包皮をつかみ、軽く引っ張る）この包茎ちんぼのかわ、やばゝ♡」

主人公「わっ？」

／＼マイク位置8

・先生の顔に近づき、囁く

アロエ「わっ、じゃないの。このびろーんとした、粗末なもので

遊んであげてるんだよ？ほらほらゝ♡このままおちんちんの皮、

もつと伸ばしちやおつかなく♡」

主人公「やつ、やめて…」

アロエ「ふーんだ♡やめてあーげない♡もう二度と、この間みたいに、

アロエの上履き舐めたり、臭いを嗅いだりしながら

ぼつきできないようにしちやおっかな♡

おちんちんが二度と使い物にならないよう、

ぞうさんみたいにもーつとびろんびろんにしちやおっか♡」

主人公「そ、そんな…」

アロエ「なに困ってるのー？どうせどーてーだし、

今後も使う予定は無いんでしょー？あ、そ・れ・と・も、

アロエみたいな、かわーい女の子をれいふして、

このきもーいおちんちんをねじこもうとしてたのかな？」

主人公「ち、ちが…」

アロエ「ふーん、まあいいや。どっちにしろ、ここできこ先生のおちんちんは

おしまい。このまま私のおもちゃにして、いたぶってあげる。

ほら…つてあれ？」

・ちんこがゆつくり勃起する

／＼マイク位置8／＼1

アロエ「うわあ…♡なに勝手におつきくしてんのよ、この変態。

私におちんちん遊ばれて、興奮しちやったの？もうすっかり

かちんこちんじやない。うつわー…あ、でも結構おおい…

どくどくつて脈うつてるし…ふうん…♡」

アロエ「ふうーっ♡(息を吹きかける)きやは♡かるうく息を吹きかけただけで
おちんちんがびくびくって反応しちゃうてる♡かわいい♡もう一回、

ふー♡はあー♡(連続で吹きかける)くふふ♡いつもおしっこと

きたないせーしだす穴にアロエの吐息が触れて、

震えちやつてるね♡ふう、ふうう…♡(長めに息を吹きかける)」

・うつとりと囁く

〳〳マイク位置2

アロエ「あーあ♡おちんちん寂しそうにふるふるしてるし…

あ、またすこし、おつきくなつてきちゃった…

あ、顔に近いから、匂う…

(クンクン、鼻鳴らす感じで)あっ…くっさい(クンクン)…

くっさ♡この変態、こんなもの女の子に嗅がせていいと思ってるの？

(より強くクンクン)…あ、シコってお風呂入ってないなあ、これ」

主人公「ど、どうして？」

アロエ「わかるに決まってるでしょ？(ややソフトにクンクン)

あゝくっさ♡チンカスくっさ♡

…だって匂うもん、拭っただけの精子のくっさいくっさい残り香…

すうゝはあゝ…(興奮気味に深呼吸)

熟成されて濃縮されたイカ臭い香り…(クンクン)雑巾並みの臭い

(クンクン)なに考えて出したの？(強めにクンクン)アロエのこと？」

主人公「そ、それは…」

アロエ「正直に言っちゃいなよ…（ソフトにクンクン）素直な変態には

「褒美あるかもよ？（やや強めにクンクン）ほら、言ってみて」

主人公「そ、そうだよ、アロエちゃんのこと考えて…」

アロエ「アロエのこと考えて、どうしたの？（クンクン）」

何したの？ はっきり言って！」

主人公「アロエちゃんのこと考えてオナりました！」

／＼マイク位置2→1→8→1移動

・ちんちんを隅々まで嗅ぎまわす

アロエ「ふふ、そう、アロエのこと考えてオナったんだあ…♡

すーん♡ すん♡ すん♡くっさ♡このくそざこおちんちんのくせに♡

金玉の裏からも匂ってくる♡くんくん、すーん♡くーっっさい♡

オスの匂い♡鼻が曲がりそう♡

ツーンときた♡つてあ♡ふがつ♡ちよつと、んご…っ、

おちんちん、ふご…っ、

勝手に、んん…っアロエの顔の上に載せるな、んおっ、おごおっ♡

えい、ぺちん♡（ちんちんはたく音）

この負け犬おちんちん♡はー♡すんすん♡（クンクン）じゃあ、

この臭いの奥には、アロエの裸とか、いやらしーポーズの妄想が

練りこまれてるんだあ（ゆっくりクンクン）…あ、なに？ びくびく

細かく動いてるよお（強めにクンクン）んほおお♡臭すぎ♡臭いで頭おかしくなっちゃいそう♡あ、もしかして思い出したら興奮してきた？」

主人公「う、うん」

／＼マイク位置1→8移動

アロエ「ホント、ごだなあ…現物が目の前にいるのに、

なに妄想で満足しちゃってんの？そんなんだからどーてーのままなんじゃない♡しようがないなー。ま、いいや、正直者にはご褒美あげる。」

／＼マイク位置8→1→2→1→8移動

アロエ「（クンクン）このくっさい臭いの素、カリを一周…うお、くっせ…♡

ええっ（舌を伸ばす）

じゅるゝゝん（うんと汁っぽくゆっくり大きくわざとらしく）

な、舐めちゃった…うわあ、チンカスびっしり…じゅるる、

はあ、じゅるるれる、こんなきったないおちんぽ、

アロエみたいな女の子に舐めさせていいの？れるれる、あゝさいあく♡

れるれるれる、このごみくず♡じゅるるっ、死んじゃえ♡

れるれるれる、私にこう、べろべろ、やって、れるれるれる、

舐められるのが、れるじゅる、夢だったんでしょ？

れーろ、じゅるるっ、れるれる。」

主人公「あ、ごめん」

／＼マイク位置1（時折2、8にもランダムで移動）

アロエ「ぷはっ、きやはは、そんな謝られても、

逆にキモさが増すだけでちゅよく？ん、ほら…れる、れるっ…♡

ちゅっ…れる、はあ…男の人っておちんちんの裏筋、舐められると気持

ちいいんでしょ？

んちゅっ…れろっ、ほら、ざあこらしくて、

じゅるじゅる、ばっちいチンカス、

れろじゅる、ほじりだしてやる♡じゅるるるる♡

（舌でほじくり回す音）れろ、じゅるじゅるじゅぞぞ、

じゅるるる。

うん、はあ…♡みてアロエの舌にもついちゃった♡れろり♡んべえ♡

あ、ちよっとカウパーが垂れてる…れろ、ちゅるっ…しょっぱ♡

なんてものアロエに舐めさせてるの♡というか、

めっちゃ汁だしてるじゃない♡

カ리를べろべろって舐められるのが気持ち良すぎた？」

主人公「う、うん」

アロエ「そう、そんなに良かった…じゃああまりに汚いからあ、（勿体つけて）

／＼マイク位置3

・耳元で囁く

アロエ「ごちんちん、アロエのお・く・ち・で♡お掃除してあげちゃ

おっかなろ？ ふふふ…（一拍置いて）な〜んて♡ほんとにしてあげる

と思っただろ？ きやはは、そんなことするわけないじゃない♡

ここからお預けだよ♡」

主人公「そんなあ…」

／＼マイク位置10

アロエ「キャハハハ、そんなあって、情けない声、うける、アハハハ」

主人公「そんな…」

アロエ「そんな、わかりやすくだらなりしてでも、アロエのと満足させてくれたら考えてあげてもいいよ♡」

主人公「えっ？」

アロエ「なにわかりやすく喜んでるのよ！…ホント変態、マゾ♡、ぎこちなく♡あ、スッキリした♡」

ざあこつて罵ると…じゃあ、気分を変えてご奉仕タ〜イム♡今度はざこ先

生のターンです♡」

主人公「えっ？」

アロエ「そんな驚かないの！ ちょっと待って」

〳〳マイク位置2

・便器から立ち上がる物音、靴脱ぐの動作音

アロエ「うんしょ、うんしょ…はい、準備オッケー！」

〳〳マイク位置9

・再び便器に座る音

アロエ「ほら、ざあこのズリネタ、アロエのあんよの現物支給！

好きなだけ臭い嗅いでいいよ」

・足に顔押し付ける音

アロエ「へへへ、上履きより濃厚でしょ、アロエの香り…今日一日履いてた靴下…しっとり汗ばんでるでしょ？ どうよ♡」

主人公「いい匂い」

アロエ「でしょ？ いい匂いでしょ？ 夢にまで見た臭いじゃない？ ほら、手が

お休みだよ…シコっていいよ、家でするみたいにさ」

・足の裏で顔、ぴしゃぴしゃバカにしたように叩く（蹴る）音

アロエ「ほーら、今更照れないのざあ♡ざこらしくいやらしくシコっちゃえ♡」

／＼マイク位置16

・おずおずしたシコリ音

アロエ「そうそう、そうやって腰まげた情けない態勢で、クンクンクンクン

臭い嗅ぎながら自分のちんちん擦るのがお似合いだよざこ先生には」

／＼マイク位置8

・シコ音少しスピードアップ

アロエ「フフッ、飼い主にじゃれつく犬みたいだね♡ほら、もっと嗅ぎたいんでしょ？もつと強くせんせーの鼻に擦りつけちゃお♡えい♡むぎゅー♡」

（靴下を顔に擦りつける音）

アロエ「あーあ、うっとりしちゃって…そんなに好きなら、直接嗅がせてあげる♡ほら、脱がせて♡」

主人公「は、はい」

・靴下ゆっくり脱がす音

アロエ「ほら、どう？女の子の生足を拝めるなんて、本来なら先生が一生かかって、出会えない機会なんだよ♡」

足の裏で顔、ぴしゃぴしゃバカにしたように叩く（蹴る）音

アロエ「どう、生足の香りは？まさか生で臭い嗅げるなんて夢にも思わなかったでしょ？つて、あつれ〜？」

主人公「な、なに？」

アロエ「左足にむしゃぶりついて臭い嗅いでるのに視線はアロエのスカートに釘付けだあ…もしかして、このスカートの下、見たいのかなあ♡」

主人公「そ、それは…」

アロエ「ほんつとドヘンタイなんだから…そーんな、ざこ教師には…

ちらっ♡(軽くスカートをめくりあげる)どう？

一瞬だけめくったんだけど…よく見えなかった？ぎーんねん♡

でももうこれ以上見せてあげない♡ってうわ！」

(便座カバーがズレる音)

・バランスを崩してスカートの下があらわになる

〳〵マイク位置1

アロエ「び、びつくりしたあ…このおんぼろ便器めえ…ってあんた！

なにどさくさに紛れてアロエのスカートの中覗いてるのよ！」

主人公「は、はいてない!!」

アロエ「あ、もしかしてゝばれちゃった？うん、アロエ、じつはあ…

はいてないんだあ♡前張りだけ♡だってえゝこの方が

開放感あるんだもん♡校則にもぼんつ履かなきゃダメって

かいてないしいゝ♡ほら、このバンソーコー一枚の下にある

アロエのワレメ、見たいでしょ♡ほら、このスカートをたくし上げて

…お股をちよつと突き出して…そゝれ、(スカートの風切り音、

腰を振る音)ふり♡ふり♡どう？下半身ほぼ丸出しの、

年下のかよわーい女の子にへこへこ腰を振りながら

挑発されている気持ちは？おちんちんのイライラ、

全部アロエにぶつきたい？でもだーめ♡ま、どうせざあこには

アロエをわからせるような度胸はないだろうけどねー♡

きやははは♡」

・シコリ音

アロエ「くすくす♡先生の目線、アロエのおまんこに釘付けになってる♡
さつきよりもずっと激しくシコってて、面白♡い…でも、

そろそろストップで♡す♡」

主人公「え、な、なんで」

・また便器の上に座る

／＼マイク位置9

アロエ「だーって、これじゃ先生ばかり気持ちよくなってるじゃない。

今にもしゃせーしそうな感じだし、アロエがいいっていうまで

自分でしこるの禁止！」

主人公「そ、そんな」

アロエ「ふふ、じゃあここからはぎこ先生が一人で気持ちよくなってた

罰として、アロエが先生のおちんちん♡いーっぱいいじめちゃうから♡

しゃせーしたら…どうなるか、わかってるよね？」

／＼マイク位置1

・ぎこちないしごき音

アロエ「こうかな？ んん…んん…うわあ…すごくカチカチじゃない…♡

ほら、こうやって上下にしごかれるのがいいんでしょ？

ほら、しー♡しー♡ほら、もっと無様に腰を低くして…」

主人公「あ、気持ちいい…」

／＼マイク位置3

・耳元に近づき囁く

アロエ「ね♡っ♡上手でしょ？クラスの男子ならこれでイチコロなんだから♡

カリのところに指が当たるように…くりくり♡」

主人公「そ、そう、うまいうまい」

アロエ「うまいって、今更先生面しないのざあこアロエの手コキで気持ちよく

なってるくせに♡アロエ天才だもん…ああ、でも最初よりおつきく

なってる…ますます固くなってるし…びくびくって動くし…

続けちゃうね♡こしよこしよ…こしよこしよこしよ…」

・だんだん早くなっていくシコリ音

アロエ「(腹が立つ感じで煽る)ほら、ちよつとずつスピードアップしちゃうよ

あ、でも、イクのは禁止ね♡ほら、しーこしこしこ、しこしこしこ…」

主人公「そ、そんな…(腰をへこへこ動かす)」

／＼マイク位置3

アロエ「しこしこ、しこしこ。しこしこ、しこしこ。

くすくす♡アロエのおてて、そんなに気持ちいいんだー♡

しこしこ、しこしこしこ♡自分で腰動かしちゃってるね♡

しーこしーこ、しーこしーこ♡

すごーい♡先生の腰へこじょーずだね♡しこしこしこ♡

おじさんのきもーい腰ふりダンス、一周回って面白いよ♡

しーこしこ、しこしこしこ♡

文化祭の出し物はざこせんせのへこへこ踊りに決定かな♡」

・シコリ音

アロエ「あー♪また我慢汁漏れてきちゃったね♡

だめだよ、射精しちゃ♡

あ、でもしごくのはやめてあげないから♡

しこしこしこ、しこしこしこ♡

ねばねばしたお汁が、ローション代わりにって気持ちいいの？

しーこしこ、しこしこしこ♡

しこしこ、しこしこ♡

じゃあここからハードモードね♡

もーっと、ぬるぬるにしちやおーっと♡」

・口の中でよだれをゆすぐ音、チンチンに口を近づける

／＼マイク位置1

アロエ「ぐちゅぐちゅ…んっ…んべえ♡♡ぺっ♡♡(涎をちんちんに垂らす)」

・ぬるぬるしたシコリ音

／＼マイク位置7

アロエ「どう？アロエのよだれローション♡ね♡っとりして、

おちんちに絡みついでるでしょ…？このざこおちんちん、

一体いつまで我慢できるかな♡♡

ほら、しーこしこ、しこしこしこ♡しこしこ、しこしこしこ♡

ほらほら、お漏らししてるくっさぁ♡い先走り汁が、

アロエのよだれと混ざっちゃってるよ♡しこしこ、しこしこしこ♡

先生のおちんちんをしごくごとに、ぬちゃあ…♡って、

えっちな音が聞こえてくるね♡

しこしこ、しこしこしこ、しこしこしこ。

あゝあ、アロエのちっちゃいおてて、先生の汚いお汁で

べとべとになってるんだけど？しこしこ、しこしこしこ♡」

主人公「も、もうだめ、出そう…」

アロエ「だから出したらダメって言ったでしょ？あーあ、アロエ、

もう手が疲れちゃった。もうしごいてあげない♡ふーんだ♡

おちんちんがギンギンで暴発寸前のまま、このまま置いてっちゃうね♡
あれ♡くふふ、どしたの、先生♡そーんな切なそうな顔しちゃって♡」

／＼マイク位置1

アロエ「しょうがないなあ…情けなく自分で行くところ、見たかったけど、

仕方ないからあ、アロエが…とくべつに♡

アロエのちっちゃなお・く・ち…でしてあげる♡」

主人公「えっ？」

・いきなり啜える

／＼マイク位置1（時折2、8にランダムに移動しながら）

・最初はゆっくり、口が小さいので相対的に大きいものを啜えてる感じと

・汁感を意識してください

アロエ「んぐっ…ん…んんっ…んんっ…しゅぐ…んぐっ…しゅぐい（すごい）

…ほっきい（おっきい）…んん…んんっ…

んじゅるるるっ…おちんちん、ビクビクさせてっ…

ほくちがひっぱいに（お口いっぱい）…（ちゅる…ちゅる）…はぐが…

んぐっ…はぐがはずへる（あぐが外れる）…んぐっ…んんっぐっ…

主人公 「続きは？」

／＼マイク位置9

アロエ 「えっ、続き？ …今日はもう無理、ここまでだよ」

主人公 「え、；そんなぁ」

アロエ 「え、そんなぁって、なんて情けない声出すの？ ざぁこだなぁ本当に。今

日はもう日も暮れちゃったし、かーえろ♡じゃ、先生が出したのでトイレ

の中汚しちゃったから、おそーじはよろしくね♪ あ、あとアロエ明日

授業さぼるから♡

29 / 58

宿題とかもかわりにやつといて。でなきや、先生にれいぷされたって

言いふらすから♡まあ、この間の動画もあるし、

アロエには逆らえないと思うけど。それじゃ、ばいばーい♪」

・靴は履いたり、下着付ける、ズボン上げる等の物音の後、

個室の鍵空けてドア開き外に出る足音、ボタンとドア閉まる音

シチュエーション1 終わり

○シチュエーション2
○夕刻の応接室

・ガラツと引き戸開く音ゝコツコツと教室見回る足音

／＼マイク位置12

アロエ「ざあこ♡」

主人公「うわあっ、びつくりしたゝ」

／＼マイク位置4ゝ2に移動しながら

アロエ「あ、驚いてる驚いてる情けない顔、受けるう」

主人公「ムッ…」

／＼マイク位置9

アロエ「あ、なんかムツとしてる。アロエに会えてうれしくないの？」

主人公「そういうわけじゃないけど…」

アロエ「そうじゃないならもっと嬉しそうにしろよ。」

アロエの機嫌を損ねたらあ、わかってるでしょ？」

主人公「そんなことより、こんな時間まで何してるの？」

アロエ「何してるって決まってるじゃないぞ。こせんせーのこと、

待ってたんだよ。この応接室で」

主人公「俺を？ どうして」

アロエ「どうしてって決まってるじゃない。からかうためだよ」

主人公「あ、そうですか」

アロエ「あ、リアクションうすゝい！ 面白くないゝ。いい？ アロエは、

いつでも変態おじさんにひどいことされたって、先生のことをおまわりさんに突き出せるんだよ？立場分かってる？あ、それともやっぱり脳みそくそざこだからわかんないのかな？今度こそ、アロエがご主人さまだつてこと、わからせてあげる♡」

主人公「どういうこと？」

アロエ「何キョトンとしてるの♡このごみくず♡」

・床を移動する音、ソファに座り込む音。

／＼マイク位置 8

アロエ「ほくら、この間の続きするよ♡」

主人公「え、続き？」

・ジャケット絵のシチュエーション想定してください

／＼マイク位置 9

アロエ「うん、つ・づ・き…あれから想像してさんざん抜いたんでしょ？へんたい。この間、先生のこといじめたりなかったからね♡今度はぜったいい、アロエが満足するまで、放してあげないよ♡」

主人公「ゴクッ…」

アロエ「あ、今ゴクッて唾飲んだ。受ける、本当にそんな反応する人いるんだ〜！」

主人公「そ、それは…」

アロエ「言い訳はいいから…いい眺めでしょ…」

神聖な学び舎で、こゝんな可愛い女の子が、ソファーに寝そべって大股開きでスカートの下丸見えにしてるんだよ…♡ほら、今日も先生が好きな前張り貼ってきちゃった♡好きでしょ？ごこせんせ♡」

主人公「……」

アロエ「返事ないけど、荒い息が答えだね…そうだ、おっぱいも、見たい？」

・ゆっくりアップパーをめくる音

アロエ「ほくら、こないだは見られなかった、アロエのおっぱいだよ♡ちらっ♡

先生は筋金入りのきもきもロリコンだし、こういうのすきでしょ？」

主人公「……」

アロエ「ますます息が荒くなってきた、面白い。

ね、またこの間みたいにあロエのおくちにだしたらい？ ざあこ♡」

主人公「…ダメだ、ダメだよ、まだ他の先生もいるし、こんな所で…」

アロエ「ほかのひとに見られてもアロエ関係ないもん。どうせつかまるのは先生だし。見つかりたくなければ神様にお祈りでもしてればあ？ wロリコンの神様にねえw」

主人公「こ、この…」

アロエ「ヤダ、まじになっちゃって、きも。でも結局アロエには逆らえないんだけどね♡ほら、先生もなんだかんだアロエのおっぱいにずっと釘付けじゃない♡」

主人公「そんなことは」

アロエ「そんなことないわけじゃないでしょ？ 負け犬おちんちんも、ズボンの上からわかるくらい、ぼつき♡しちやつてるし♡きつしよ♡」

アロエ「でもこの前はアロエが満足できなかったから、今回はお預け。

今日はアロエが気持ちよくなる番ね。先生はそこにずっとたつてて、アロエがエッチなことしてるのを聞いているだけ。

生殺しじゃないかって？ うん。だって先生はアロエの奴隷だから、これはお仕置き。わかった？」

／＼マイク位置3→1→7→1→3移動

アロエ「じゃ、これからあ、ざこ先生のとなりでオナニーするね♡先生はおちんちんいじっちゃダメ。じゃあ始めちゃいます♡

まずは、前張りをゆーっくりはがしてえ…

（絆創膏がゆっくりはがれる音）

ほら、みて、これが、先生がずっと妄想してた、

アロエのお・ま・ん・こ♡こっわゝい、先生の目ギラギラじゃん。

そのままアロエのおまんまん見ててね♡

あ、あとアロエがオナニーしてるるとき、もしかしたらあ…

すぐく下品な声出しちゃうけど、先生なら我慢…できるよね？

ん…っ、んっ、あつきもちいい…んっ…おっ…

おおう…あ、だめ、下品な声でちゃう…ほおおおうっ…おほおっ

っ…っお…お…っお、っほ…おっ、おほっ…っ…っお…

指でクリトリスすりすりするのきもちいい…んほおお…

あっ…だめっ…ううおっ…

声、がまんできないっ…ほおおっ…

おおおおっ…ほっ…んほおおおお…

どう、せんせ…んおおっ…教え子の、えっちな声聞かされながら、

んっ、オナニーを、みせつけられて、でもおちんちんは触れない、

もどかしい気分は…おほっ、おほおおっ

ぜっぼーてきでしょ♡あっ…んっ…

先生のっ…目の前でおまんこすりすりするの…んっ、ほっ…

いつもより何倍も気持ちいい…っ

ほら、いま、おまんこの中に、おっ、ゆび、第一関節まで入っちゃってるの、

わかる？

これが、もし先生のおちんちんだったら、んっ、
アロエのびちよびちよおまんこに、きもちよく抜き差しできたのにね♡
んむっ、あ、んおっ、おっ、んほおおっ♡

でも残念、先生のどーてーおちんちんじゃ、
一生女の子とはせつくすできないし、アロエのオナニーを、
指をくわえながら見てることしかできないの♡

あんっ…先生のその残念そうな顔見ながら、んおっほっ、
おまんこの内側をこすこすするの気持ち良すぎて、おっ、
声が止まんない♡おほっ、おほおおっ♡

あ、やばい、クリの部分、爪でカリカリするの、ヤバイっ…おっ…………っ
んおっ、ほおおおおおお…っ！？

あ、だめ、これ、んおっ、もしかしたら、おっ、
イっちゃうかも…っ。んんっ…うおお…っ

ほら、先生の耳元で、アロエのいくときの、んほおっ、
下品な声、聴かせてあげる、ほおおっ…

なか、ほじりながら、おっ、
ぎゅっ…てえ、おおっ、クリちゃんを、おおっ、
にぎにぎしてえ…っ、あ、あ、イぐっ、おおおおっ、ほおおおおっ
おっほおおおおおおおおっ！

(ペースダウン)

おっ…ほっ…ほおっ…んほおおっ…

き、きもちよかったああ♡

どう、だった…？お預け食らって、女の子のオナニーを真近で見た感想は…♡

屈辱的、だったでしょ…？アロエは好きなだけ、気持ちよくなれるのに、

そんなか弱い女の子に支配されて、

おちんちんすら自分の意思で触れないもんね…♡

ほんと、バツカみたい♪」

・いきなりガバッと抱き着く音

／＼マイク位置 1

アロエ「え、ちよ、なにして、何マジになってんの、ってきやあ！

あ、やだ、スマホ返してっ！

先生のせーしのおいがしみこんじゃうじゃない！

…ってその動画、それ、削除しても無駄、なんだから！

もう許さない！ケーサツにつーほーしてやる！」

／＼マイク位置 9

アロエ「あっ、どこ触ってんの！？

いやああっ！ 脚、掴まないでっ！

勝手に足のおい嗅ぐなあ！おまたひらくな！

このごみくず先生、いったい何やってんのよ！

だから先生は私の奴隷だって…」

・先生がアロエを組み伏せる

／＼マイク位置 1

アロエ「うわあ、ひい、な、なに、急に上に乗っからないでよ、

ちよ、重いし、し、しかもなんで勝手にズボンおろしてるのっ？

そのおおきなおちんちんで何をするつもりなのっ？」

・秘部をおちんちんでこすりつける音

アロエ「んひああつ、あつ、うあつ、先生のちんかすこびりついた

きたないおちんちんが、アロエのおまたにこすりつけられてる、

当たってるっやダあつ、そんなおつきくてばっちいの入ったら…」

／＼マイク位置2

・無理やり挿入するジャケット差分のイメージ

アロエ「んほおおおおおお…っ！？入ってる、入っちゃってるう!!

おっ、おっ、おおおっ、無理やり、おまんこをかき分けて、

ねじこまれちゃってるううっ…うおおおおっ!!

アロエの、さっきイったばかりのキツキツ、ロリオマンコにいつ、

んおっ、おっ、ずぶぶうって、奥までえっ、おっ、おっ、おっ

先生のくそざこおちんちんなんかにい、

おっ、おほっ、れいぶされちゃってるうっ、んほおおっ」

主人公「もうゆるさない」

アロエ「（強がりながら）こ、このおお、奴隷の分際で、おほお、

もう、うお、許さないんだからあ、〃おお、立場、

んおっ、わきまえてないくせに、おほっ

教え子に手を出しちゃうとか、

まじで、頭、おかしいんじゃない…んおおっ

パパとママにもいいつけて、おまわりさんに突き出して、

一生刑務所せいかつ、確定なんだからあ…おしまいだね…きやははっ」

・中で動かし始める

／＼マイク位置 1

アロエ「おっほおおおおっ！？ おーおおおっ、おほっ、おほおおっ！

ナカで、動かしちゃダメえ、おっ、おっ、おっ、おとなちんちん、
しゅ、しゅごいい…っ、んおおおっ

アロエのおまんまんに、おっ、おっ、おほっ

きたないおちんちに、れいぷされてるうっ、おほおおおっ

体に覆いかぶせられて、おっ、おっ、おっ、足、動かせないように、

つかまれてっ、んおおおっ、ふぎいい、

逃げられなくされて、おっ、おほっ、おほっ、

へこへこ腰振り、おっ、おっ、おっ

アロエ、犯されちゃってるうっ、おっほっ、おほっ、んおおおおっ」

・感じるのをこらえて煽る

／＼マイク位置 7

アロエ「っ、ふうっ、ふうっ、んぎいいい、

ふん、べっ、に、先生のくそぎこ、おちんちん、で、

キモチよくなるわけ、ん、ないじゃん…っつ。んおおおおっ♡

声、漏れて、るって…？ “おお…”

そんなわけ、ないじゃん、おっほおっ

幻聴でも、聞こえたんじゃないのお、“おっ、おお…っ

ふうっ、ふうっ、くそぎこせんせーが、でぶだか、らあっ、おっ、おっ

重いよう、息上がってる、だけ、んお、おっ、おっ、おっほおっ

へこっ、へこって、ワンパターンに抜き差ししてるだけで、んおっ、動き、んおっ、へたっぴ、だし、おっ、おほっ、おっ、おっ

ホントに、これっぽちも、感じてないっ、んだからあ、

おっ、おほ、おほおっ全然、余裕っ♡

てか、先生っ、こそ、おっ、そろそろ疲れてきたんじゃ、ない？

クラスの男子よりも、下手だし、んおっ、おっ、

さつきより、すこし、おほっ、腰振るの、遅くなってきたん、じゃない？

オトナ、のくせに、んおおっ、どんだけ負け犬なの、ウケる、んおおおっ
これだから、ざこ、どーてーはあ、おっ」

・奥まで一気に挿入、激しいピストン

／＼マイク位置1

アロエ「(汚いオホ声) 〃んっおおおおおおおおっ！！？

おごっ、おちんちんっ、一気に、ぼこおっていった♡

ぐりぐりいつ、それっ、やつぱっ…おっ、おっ、おっ、

おまんこの、一番、おくまでっ、芯に、響く…っ、おほっ、おほおおおっ
お腹の上からでも、おっ、おっ、ぼこおって形が分かっちゃうくらい、

はいってるうっ、おほっ、おほおっ、

入っちゃいけないところ♡とどいちゃってるう、んおおっ

凶悪、おちんちんの先っぽで、かき回すなああっ、んおおおおっ、おおおおっ、
おっほっ！？ だめ、それっ、おくっ、コリコリって、おっほっ、ほおおっ

赤ちゃんの、お部屋つ、おつ、んほおおつ、押しちゃだめつ、んおおおつ
それだけはほんとにつ、マジ、ヤバあつ、んっほおおつ、おつ、おつ、おっほつ
子宮がおちんちんの形になっちゃうよ〃おおお…っ」

・一回ペースダウン、焦らす感じのピストン

アロエ「んおおつ、急におちんちん抜けてく、

んおつ、おつ、おつ、おつ…

おほつ、そこつ、オマンコ、入口のほうでつ、んほつ、ほおつ、おつ、ほおおつ
弱いとこ、ひっかけてきてるの、それ反則つ、おつ、おつ、

むりい♡おつ、頭おかしくなりゆう♡

このまま、んああああ…っ♡負けちゃうっ

おまんこの壁、〃おつ、ゆっくり、んおおつ

ごりごり削られてくの、んぎいつ、切なくて、おつ、お腹、

きゅんきゅんっ、しちゃうっ、んおおつ

この雑魚先生のくせに、テクいまねして、そこ、ばっかつ、おつ、おおんっ、
卑怯、んおおおつ」

／＼マイク位置2

アロエ「(最後の悪あがきのイメージ)ふうーっ、ふうっ、ふううっ

あつ、そういうこと、ね…んおつ、おつ、

先生もう、出そう、なんだでしょ？…

こないだもアロエのおくちで、すぐイっちゃったもんね…

おつ、おふつ、んおおつ

ゆっくり動かして、おつ、んほつ、んおおつ、そーろーだつてこと、
かくしてるんで、しょ？んつ、ほおううつ

アロエのおまんこがきもち良すぎるからって、

おつ、おつ、もう、ザーメンおもらししちゃいそうなんだあ、

やつぱり、ザコじやん、うける…っ

んっ、やつぱり奴隷のざこ先生は、アロエのこと、わからせるとかあ、おつ、
絶対不可能なんだからあ、んっ、＼おつ、さっさとイケ♡

いったら今度こそ、犯罪者かくてーだから、おつ、ほおつ、
しけーになっちゃうかもね♪

ざゝこ、ざ゠こ、ざこちんちん…っおおおおっ」

／＼マイク位置1

・種付けプレスでスパートをかける

アロエ「おっほおおおおおんっ！ おほつ、んほつ、ほおおおおおっ！

急に、激しつ、んぎ…っ、あつ、あああ…っ、おつ、おつ、おつ

上から、押しつぶされて、ずぼずぼおつ、おつ、おつ、おおおおんっ！

おちんちん、ずっぱり、ずんずんって、長いいつ、深いいつ、

んほおおつ、おつ、おおおんっ、先生に、種付けプレスでえ、おほつ、

体動けなくされてえ、オナホみたいに犯されちゃってるう、

こ、これまずい…っんおおおつ、おつ、

おおおんっ、無駄にちんちんでかいからあ、

ぶりゅぶりゅっ、擦れるうつ、おおつ、おまんこ無理やり、

ごりごり、すりつぶされりゅ、おつ、削り取られりゅ、

おつ、おつ、おつ、ヤバいつ、ズポズポつ、早いっ、激しいっ、
んおおおおおつ！

奥つ、ずんずんっ、おほっ、おほっ、ソレ、ヤバいいっ、んおおおつ
また、おつ、おなか、ぼこって♡かたち、変えられちゃってる、
おつ、おつ、このままじゃ、おちんちんの入ってた跡、
残っちゃう♡んほおおつ、先生のおちんぽケースに、おつ、
なっちゃう♡

この体勢、おほおつ、んほおおつ体重かかるからあつ、
お腹、奥につ、内臓まで届いちゃう、んおおおおつ

オナホみたいに、んほっ、おほっ、おほっ

使われちゃってるう、おっほっ、おほおおつ、

ご主人様なのにつ、おつ、おつ、おつ

アロエが、先生に負けちゃううっ、んほおおおおつ」

・絶頂

アロエ「おつ、んぐ、んぐ、おお、おおつ！？」

ヤバいつ、はぎゅ、んおおおお♡、お腹の奥つ、びりびり、んほおおつ
これ、もしかして、イクるっ、キちゃううっ、おほおおおおつ

ゝあゝ、あッ♡だめ、じゅぶじゅぶ、気持ちいい、これ、我慢れない、
らめ、アロエ、このまましゃせーされたらいつちゃうううっ♡

中出しダメえええっつ！ザーメン注ぎ込まれちゃううう♡

くるっ、イクっ、イクっ、んおおおおつ、おっほおおおおおつ……っつ
っ！！！！

っ…っお…おっ…おっ…おっ…

なに、これえ…いやっ…おほおっ、とまらにやい…っ♡

先生の精液…うぷっ、おおおっ…お腹、ぷっくりしてるう…

まるで、あかちゃんいるみたいい…♡

おまんこ、壊されちゃったあ…おっ、お、お…

ずっと、ぎもぢいの、とまんな…♡

こんな、はずじゃ…ほゝお…♡」

・おちんちんを抜く音

アロエ「んっ、ほおおおうっ…おほおっ。

はあっ…はあっ…はあっ…精液っ…漏れてりゅ…こぼこぼって…

ははは…これで先生はおしまいだね…

もうけーさつに全部いうから。先生に脅されて、レイプされましたって。

すまほ、返して…ケーサツに、電話しなきゃ…

って、え…？さつき、アロエがレイプされてたところ、全部録画されてた…？

これを学校みんなにばらまく…？

ちよ、ちよっと、何勝手にとつてんのよ！変態！

え、明日からは先生がご主人様…？アロエは、先生の性欲処理に使われる、

オホ声性奴隷…ちよっと意味わかんない。だって、アロエの方がご主人様で…

で、でも、あの動画がクラスのみんなに見られたら、アロエは生きていけない…

そんな…かえしてよう…ふええ（ガチトーンの泣き声）。」

「

シチュエーション2 終わり

○シチュエーション3

○次の日、同じく夕刻の応接室

・開き戸開いて入室の足音

／＼マイク位置10 後ろ向き

主人公「アロエちゃん」

アロエ「やっときた！女の子をこんなに待たせるなんて非常識よ！

さあここで勝負よ！アロエ、今度はぜったい負けないんだから！」

主人公「勝負？いったい何のことかなあ…？」

アロエ「なにしらばっくれてんのよ！昨日言っただじゃない！今日先生との勝負に勝てば、スマホ返してくれるって話でしょ！昨日の、アロエの、は、恥ずかしいところ映っちゃってる動画…取り返してやるんだから！」

主人公「そういえばそうだったね。でも、アロエちゃんが負けたら…」

／＼マイク位置10／16

アロエ「わ、わかってる。今日の勝負で、アロエが一度もアクメしなかったら、アロエの勝ち。逆に先生にイカされたら負けって話でしょ。

アロエが負けたら、一生先生の奴隷になってあげる。でも、今度こそ、絶対アロエが勝つんだから！」

主人公「それはどうかな？まあいいや、とりあえず服脱ごうか」

／＼マイク位置 9

アロエ「え、わ、ちょっと…まだ心の準備が…ニーソだけ残して、

他の服は全部脱げだなんて、この変態め…うー。」

・服を脱ぐSE

アロエ「ほら、脱いだわよ…これでいい？え、次はしゃがんで、

先生のおちんちんにごほーしするの？なんでアロエがそんなこと…

わかったわよ、やればいいんでしょ！」

・しゃがみ込む音

／＼マイク位置 1

主人公「じゃ、次は手を使わずにちんちんを出してみて。」

アロエ「え、手を使わずにちんちんをパンツから出す？…この悪趣味教師。

うう…こんなはずじゃなかったのに…はむっ」

・チャックを口に含み、ゆっくり下げる音

アロエ「もご、もごっ…先生のぱんつ臭すぎ…むわってする…んむっ…これ、

ずりしゃげて…うわっ。もう勃起してるし、きも！」

主人公「上手に出せたね」

／＼マイク位置 2

アロエ「こんなこと、女の子にやらせるだなんて、このくず。しかも、

まえより更に臭くなってる気がするし…すん、すん…は…くっさ！」

主人公「匂い嗅ぐのすきななの？」

アロエ「はあ!!匂い嗅ぐの、す、好きなわけないじゃん！」

あたまおかしいんじゃないの！こんな、すんすん、

生ゴミみたいな匂い、すんすん、好きなわけ…くっさ♡」

主人公「嘘ついちゃダメだよ…バツとして、えいっ！」

／＼マイク位置1

・ぺちん、とちんちんを顔にたたきつける音

アロエ「きやあ!!何考えてるの!!信じらんない、アロエの顔におちんちんを

ぺちんってたたきつけるなんて!ってうわあ!

(さつきよりやや大きめのたたきつける音)

ひゃっ…わかったからもうやめて、

顔におちんちんのアザが出来ちゃうからあ!」

主人公「反省した？」

アロエ「は、反省って…。ふん、先生こそ、今日アロエが勝ったらどうなるか

わかってないんじゃない?言っとくけど、昨日は、

わざと負けてあげたんだから!そんなこともわからないの?」

主人公「まだ反省してないようだね…」

・押し倒す音、バックの姿勢に移る

／＼マイク位置9

アロエ「きやあ!!え、なによ、服引っ張るんじゃないわよ…!

しんじらんない、この犯罪者!いやだあスカートずり降ろすのダメえ!」

主人公「もうオマンコ濡れてるね」

アロエ「お、オマンコもう濡れてるって…そんなはずないじゃん、だって、

先生に無理矢理されて感じてるなんて、アロエまるでドミみたいじゃない!ドミっていじめられて喜ぶヘンタイでしょ?私はいじめる側なの!」

主人公「やれやれ…いつでも聞かないそんなメスガキにはお仕置きが必要だね」

／＼マイク位置1

・おちんちんをこすりつける

アロエ「あつだめっ、お尻わしづかみにしないで、

広げちゃダメ、そこすりつけられたら…

いや、いま入れちゃダメ、まだ、やだ、生の、大人ちゃんぽ…っ！

あ、んんっ…んおおおおおおおおっ!!」

・挿入

アロエ「おっ、ゝおゝおお…？んんんんんーっ！

や、やばい…入れただけで、もう、イキそうになった…♡

フーツ、フーツ…♡これ以上、うごくなあ…変態教師い…」

・ピストン開始・肉がぶつかる音

アロエ「あ、あああ、ああんっ、あんっ…んはっはうっ…ん、んくっ…

んおおっ、おっほっ、ぐ、ゝんう、あんおおゝお…♡

あっあっ、んぐ、おゝウオオオオ…ッ♡

やめっ、うしろから、ぱんっぱんって、これ、おほおおっ

やばすぎる…♡深いところ、んお、届いちやう…！

ん、ウウアアッオオオッ♡ミチミチって、

オマンコのお肉、掻き分けられてく…♡

んおおおっ♡ケモノみたいな、おほっ、姿勢で、

おっ、犯されて、こ、こんなのっ、知らないっ…！

あ、ああっ、んほゝおっおおおおんっ！

ふんぎいいいいっ！こんなの、私じゃない、

おほっ、アロエじゃないっ…！

んおおおおっ！んおおおおおおおっ…

あああああああああっ！

—

／＼マイク位置 8

・密着して乳首を責め始める

アロエ「んひいいいっ!!う、うそっ、ちくびだめっ、あああっ、

そこ敏感だからいじっちゃだめっ、あひっ、あっ、

指でこねくり回すの、やだっ、んああっ、

つま先で、あっ、あっ、カリカリするのもだめえ、あひいいいっ、

乳首のさきつぽだめええええっ！

おちんちん、＼おおっ、ぱんぱんしながら、おっ、

ちくび引っ掛けられたらあ…

＼んお!!ぎゅって、捻るのは、もっとだめえ！

いぎいいい、ちくびちぎれるう、痛いだけなのにい、

こんなの、＼おおっ、痛いだけなのにいいいい！

ん＼お＼お＼おおおおおおおっ！」

／＼マイク位置 1

アロエ「ふうっ、ふうううっ、あ、ありえない…

アロエ、先生のこと、おっ、絶対ゆるさない…、ああううっ、

まけない…っ！おおおおっ、勝って、おほっ、やられた分、

ひやくばい、返しなんだからあ——」

・激しくピストン

アロエ「んほおおおおおっ！むりいっつつ♡

こんな極太おちんぽ、はんそくうううっ♡もうぱんぱんするの、

ゆるしてええつ！

おつ、おつ、とめてつ、ほおおつ、このままじゃ、

アロエの、＼おつ、＼おまんこつ、壊されちゃうつ！

頭おかじくなりゅつ！おかじくなっちゃうの＼おおおおおつ！

このまま、せんせいの、専用おちんぽケースになっちゃううつ！

おちんぽおおおつ…！ごり、ごり、されて、

おつ、ほつ、ほおつ、深いの来ちゃう、またイカされちゃう、

イグつ、イグイグイグつ、アロエのオマンコイグつ、イグつ、

イグのおおおおおつ！んほ＼お＼お＼おおおおおつ…」

・一拍置いた後、そのままピストン継続

アロエ「はあ、ふう、…んぎ…つ、ああ…つ、

＼お、つ…ほ＼お＼おつ…！いったからあ？！イギましたあつ！

＼ん＼おおつ、とまつてつ、ほおおおつ、イッタから、

とまつてよおおおつ！むりいつ死んじやう、

いったばかりでビンカンすぎるからあ、

キモチ、よすぎてつ、おおおおつ、せつくすでしんじやう…

おちんぽに殺されちゃううつ…！」

・一回ペースダウン

アロエ「はあつ…ふう…ごめん、なさい…アロエの負けでいいからあ…

んおおつ…おつ、ほおつ…

だから…もう先生のことからかわないからあ…おつ、ほおおおつ…

ほーけーだとか、童貞だとか…もう言わないからあ…

髪の毛とか体臭も、やばいとかおもつて、ごめんなさい…

だから、もう、許してえ…」

主人公「まだだめだよ」

・ ゆっくり抜き差ししながらスパンキング

アロエ「(お尻たくSE) ひぎやあつっ!! なんぞえっ!! おちりいいっ!!

うお // おっ...!! おほっ、ほおっ、(お尻たくSE) あひいっ!!

(お尻たくSE) んひい...!! ゆ、ゆるしてっ、いった、

のに...(強めにお尻たくSE) あぎやあああつ!! おおっ、

ほ、本当に、ごめんなさい...反省してるからあ...んおっ、

もう二度と生意気なこと、いわないからあ...」

・ 左右交互にスパンキング

アロエ「(お尻たくSE) んほおおおっ、(お尻たくSE) やだあああつ!

もう、(お尻たくSE) んほおおお!! これ、おかしいっ、

(お尻たくSE) あひい! おしり、ペンペンされて、気持ちいいの、

(お尻たくSE) んおっ、感じちゃうのおっ、なんでえええっ!!

(お尻たくSE) おおっ、だめ、これ、変なイキ方する、

(お尻たくSE) んおおおっ、クセになっちゃう、イキグセついちゃうう!

(お尻たくSE) ん!! おおおっ! またイクう、止まらない、

アロエの負けグセオマンコイクの止まらないよおおお!!

(最後に強きたたくSE) おっ、んほおおおおお...っ~~~~♡」

・ 潮吹き音

アロエ「おっっ、おっ、おおおっ...

おっ...おっ...おっ...ん // お // お...っ」

・ チンポを抜く音

〳〵マイク位置 9

アロエ「...っ、んひ...っ、おおおっ...ほっ...んほおおお...

もう、むりでしゅ...先生のおちんぽ...やばすぎ...

マジイキとまんない...っ。おまんこ壊れちゃったからあ...

何でもするから、もう、やめて…」

・アロエの体を持ち上げる

〳マイク位置1(マイクに背を向けるのを意識してください)

アロエ「ひいっ!!まつ、てっ…なんで、アロエの体、持ち上げる、のお…

…まさか、…やだやだ、おろしてよう、

もうやめてえっ!もうこれ以上は無理だからあ!

もういぎたぐないいっ!」

・挿入

アロエ「ああああああおんっ!アロエの、体重が、そのままのつかってえ
おちんぽ一氣に奥まで入っちゃってるううう!!アロエの子供マンコがあ、
先生のおチンポでえ、うああおっ…!!い…っ、んおお…っ♡

これじゃ、まるで人間チンポケースにされちゃってるよう…っ!

んおおおっ、んおおああああああおおおおおおおっ!」

・アロエの体を上下に動かし、オナホのようにしごく

アロエ「ああああおっ、う…っ、おっ、おっ、

アロエの体、ふとももからがちりほろどされて、ほおっ

上下に揺らされて、んああおっ、むりやりい、

おチンポしごきにつかわれてるううっ!ああああああああつ、

やばい、ああおっ、んああああああおほああおおっ♡

またイッてるううっ、出し入れられただけでおまんこ

負けるう…っ、んひい…っ、脳みそまで、犯されてるうう

んああああああおっ…!

アロエが、先生のことを気持ちよくさせる為だけに生まれてきた、

ド≡オナホだって、わからされていくう…っ!

ほぎょ 〳ああああ…っ、そんな激しく、動か…っ、

ん　“おお…つ、お…つ、おつ、おおつ、おごつ

メスガキマンコ……またいぐ……

お お 〃 お…つ、だめ、だめだめだめだめ…つ、ん お…つ

アクメしちやう…つ、ほおおおんつ

おっほ　〃　お　〃　お　〃　お　〃　お　お　お　つ！　おマンコまた

いぐうう
う"
う"
う"
う"
う"

・アロエ「おっほっ、おほっ、おほおおおっ、

イツてる、いつてりゅからああああああああああ♡

ダメつ、もうつ、ダメえええつ、おほおおおつ、

んおおおおつ、おおおおあおおおおお♡

やばい、イキながら、パンパンって、子宮の入り口、こじ開けられてるうつ、

イキ過ぎてバカになっちゃうううううううううう♡

おほつ、んほおおつ、おつほつ、おほおおつ、

またイクつ、連続でイっちゃうつ、止まらないよおおおつ、

しぬつ、んほおおつ、アロエつ死んじやう、おほおおつ

よわよわおまんこ耕されてイギながらじんじやううううううっ♡

「んおおおつ！んおほおおおおおつ……！」

・アロエの体を回して、対面座位にし、キスする

ニマイク位置 1

アロエ 「んんっ…ちゅっ、ちゅっ、ぢゅるっ、ぷはっ、

んああつ、だめつ、まだ苦しいくらい、イッてるのに、

急に、おっほっ、キスなんてえ、優しくされたらあ、

おかしくなつちやうつ、

ちゅばっ、ちゅぼっ、ちゅっ、ちゅっ、んっ：んほお♡

ピストンされながら、下品な声が止まらないのにい、

んほつ、おほつ♡」

- ・ 早めに抜き差し

アロエ「んおおおおおおおおつ……あああああああつ！」

もう無理、オマンコ壊されてしんじやう……つ

くそざこメスガキマンコで、おご…っ一生ごほーしするからあ、

んほつ、おほつ、先生のオナホどれになりますうううつ！

アロエがちよーしのつてましたあああつ！

ほおおおつ、んほおおつ！

アロエは先生のおチンポが無いと何もできない、おつ、

ちよつとかわいいだけの性欲肉オナホでしたあ♡おつ、おつ、ほおおつ

もう、おちんぽとおまんこのことしか考えられないいいいいつ！

またイっちゃうのおおおお♡

敗北アクメでえつ、人生終了しちゃうのおおお♡

5

ん、うおおおおつ、イキながらイグつ

あつ、お〃お…つ、おほおおおつ、ほおおおおつ♡」

- 射精準備

アロエ「おつ、おチンポふくらんだつ、ぶつとくなつてりゆ、

子宮の入り口かきわけてりゅう♡

おちんぽしゅきいいいいいっ♡だいしゅきいいいいいっ♡

ねっとりした中出しザー汁で、マーキングされちゃう♡

先生専用のメスガキオナホ確定しちやう♡

んおっ、おっ、おっ、また、出されちゃう♡

先生のどろどろザーメンで、子宮パンパンにされて、

まだ学生なのに妊娠しちゃううううう♡

おっ、おっ、おっ、やばいつ、またいくつ、んほおっおほおおおっ、
イグイグイグっ、人生棒に振った、全力敗北アクメ来ちゃう♡
止まんない、くるっ、おわっちゃう♡

[illegible]

・射精音・潮吹き○おもらし

アロエ「おぐおおおお……つ、おつ、おおお……」

お腹の奥……まだ、どくどくつて……流れ込んでる……おつ……

あつついザーメンで…お腹ふくらんじやったあ…

やば……これだけ出されたらあ……

もう生理来ないかも……お……つ、おとお……つ」

- ・ちんちん引き抜く

ニマイク位置 9

アロエ「ん〃おお…っ♡ほう…♡先生のぉちんぽっ…

つよすぎ…おまんこ開いたまま…精液どんどん逆流して出てくる…

アロエのくそごまんこを、調教して頂き……

ありがとうございました…♡

これからは、もう、ずっと、アロエは、

先生だけのザーメンコキ捨てオナホでしゅ：

死ぬまで、好きにコキつかってください…♡」

● 終わり